

公私共にご多忙の中、1年を超える期間、学園に足を運んで頂き、平成31年2月に両ご尊像が完成しました。どちらの作品も大変素晴らしい、末永く学園とその関係者を見守つて頂けるご尊ます。

昨年度に引き続き、今年度も会長を務めさせて頂きました細野と申します。光友会の皆様におかれましては、日頃より、活動にご尽力頂き感謝申し上げます。

さて、学園の創立百周年を迎えるに当たり、学園では様々な事業が展開され、大詰めとなりました。光友会とともに、学園と協議をしながら3年前より準備を進めてまいりました、高等学校アリーナの「阿弥陀如来ご尊像」の更新事業が無事に完了致しましたのでご報告申し上げます。

当初の計画では、高等学校第1アリーナのみ更新する予定でございましたが、学園との協議を進めていく中で、第2アリーナのお絵像も更新することが決定致しました。

兩ご尊像の制作は女子美術大学洋画専攻非常勤講師でいらっしゃる、菅野静香先生に依頼をさせて頂きました。

平成31年3月には、当麻山無量光寺ご住職、飯田覚隆上人にお越し頂き、撥遣式法要が挙行されました。更に4月には、私もご招待頂き、学園の教職員の皆様やご来賓の皆様と共に、魂を入れる法要である開眼式法要が挙行されました。撥遣式法要と同様に、飯田上人をお導師としてお迎えしました。

学園創立の地である無量光寺の飯田上人。同じ市内で教育活動を展開されている女子美術大学の菅野先生共にご縁を頂き事業が完遂できましたことも大変有難く感じております。

2019年度は、元号が変わり、学園もいよいよ創設百周年を迎えます。この節目の年に、光友会と致しましては、皆様との連携をより密にしながら、母校の益々の発展に協力をさせて頂く所存です。今後ともご協力の程お願い申し上げます。



2019年度は、校内ネットワーク環境、全普通教室の電子黒板化、第1アリーナの冷暖房機器の設置など更に充実した環境を提供して参ります。また、地域社会との連携を深め、地域の皆様の学習やコミュニケーションの場として修養室や図書室の学校施設を開放し広く公共性を持つた活動を通して地域に親しまれる学校づくりを促進して参ります。

次に在校生の近況をお知らせいたします。学園では、「グランドデザイン2018」で示した自ら描く進路選択、進路決定をスローガンにキャリア教育を重視しております。国公立大学をはじめとした難関私立大学への勇猛果敢なるチャレンジや進学も年々増加しております。

2019年は、新元号を迎える年であり、本学園にとりましても創立百周年を迎える節目の年になりました。学園は、学祖山崎弁榮聖者による「智慧と慈悲を持つて明るく幸せな社会の実現に努める人間を育成する」という建学の精神を基本にしながら、まごころと思いやりのある豊かな人間性を有し、社会の発展に貢献できる人材の育成に力を注いでおります。卒業生の皆様の社会における御活躍や御貢献は、在校生・教職員の誇りであります。生徒一人ひとりの人生が心豊かなものになるために、今後も生徒、保護者の皆様から信頼され、卒業生の皆様、地域の皆様から愛される学校を目指し努力を重ねて参ります。

これまで創立百周年を迎えるにあたっては、皆様との連携をより密にしながら、母校の益々の発展に協力をさせて頂く所存です。今後ともご協力の程お願い申し上げます。

未筆ながら、光友会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍、御健勝をお祈り申し上げます。

会長挨拶



会長
細野 泰司

光友会報

平成31年3月31日
慈悲
第50号

発行責任者者者所
行集刷
編印



学校長
清水 尚人

創立百周年の誇り

2019年度には、校内ネットワーク環境、全普通教室の電子黒板化、第1アリーナの冷暖房機器の設置など更に充実した環境を提供して参ります。また、地域社会との連携を深め、地域の皆様の学習やコミュニケーションの場として修養室や図書室の学校施設を開放し広く公共性を持つた活動を通して地域に親しまれる学校づくりを促進して参ります。

次に在校生の近況をお知らせいたします。学園では、「グランドデザイン2018」で示した自ら描く進路選択、進路決定をスローガンにキャリア教育を重視しております。国公立大学をはじめとした難関私立大学への勇猛果敢なるチャレンジや進学も年々増加しております。

2019年は、新元号を迎える年であり、本学園にとりましても創立百周年を迎える節目の年になりました。学園は、学祖山崎弁榮聖者による「智慧と慈悲を持つて明るく幸せな社会の実現に努める人間を育成する」という建学の精神を基本にしながら、まごころと思いやりのある豊かな人間性を有し、社会の発展に貢献できる人材の育成に力を注いでおります。卒業生の皆様の社会における御活躍や御貢献は、在校生・教職員の誇りであります。生徒一人ひとりの人生が心豊かなものになるために、今後も生徒、保護者の皆様から信頼され、卒業生の皆様、地域の皆様から愛される学校を目指し努力を重ねて参ります。

これまで創立百周年を迎えるにあたっては、皆様との連携をより密にしながら、母校の益々の発展に協力をさせて頂く所存です。今後ともご協力の程お願い申し上げます。

未筆ながら、光友会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍、御健勝をお祈り申し上げます。

会長
細野 泰司

会長
細野 泰司

百周記念事業報告 アリーナご尊像の完成

21世紀を迎へ、社会の変化のスピードは益々早くなり、これからの時代を生き抜くための素養、求められる人材もまた、激しく変化してゆきます。

その様な時代に対応するために、戦後最大とも言われる教育改革が行われ中、学園でも創立百周年という節目に合わせ、様々な教育環境の整備、多様な教育活動を行うための準備を進めて頂いております。

しかしながら他方、枝葉を大事にする者がその根を養うことに力を注ぐように、学園の根幹として、学祖山崎弁榮上人の創設の意志を見つめ直し辿ることが、更なる飛躍に繋がるとの考えのもと、学園ではその象徴であるアリーナの「阿弥陀如来」ご尊像の更新も百周年事業の一環として計画されました。

時代に要請された人材を育成することが学舎の使命であり、そのためには教育環境や内容は柔軟に変化しなければなりません。しかしながら更に、建学の精神に基づいた独自の人間教育、人材育成もまた、私学が果たすべき使命でもあります。学園の方針に賛同させて頂き、光友会としてアリーナのご尊像更新事業に協力をさせて頂きました。

平成31年2月にご尊像そのものが完成し、3月には従前のアリーナのご尊像の「撥遣式法要」が挙行され、その後かけ替え工事が行われました。そして4月に

は、光友会会长も招待を頂き「開眼式法要」が厳肅な雰囲気の中で挙行されました。

これらの学園の発展を見つめ、お守り頂けるであろう新しいご尊像の完成を心よりお慶び申し上げますと共に、

ここに至るまで学園や光友会の活動にご理解とご協力を頂きましたことを、深く感謝申し上げます。

弁榮上人墨跡仏画の寄贈について

徵であるご尊像の更新に光友会が携われましたことは、大変有難いご縁であります。百年を契機として新たな教育に挑む学園の益々の発展を祈念申し上げます。



谷家旧蔵の三昧仏

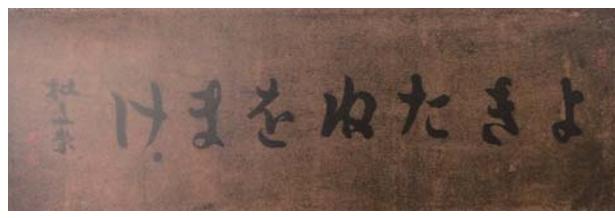
谷上人のご遺稿は、ご遺族をはじめ、河波定昌上人によって『法然上人の神髓』(現代語訳『宗祖の皮隨』)として出版され、道俗を問わず、多くの方に読まれております。

ここに感謝を込めまして謹んで紹介させて頂きます。

学園が百周年を迎えるに際し、上述のご縁から、故谷慈義上人のご遺志を継がれましたご令室様をはじめとするご遺族の皆様より、弁榮上人やそのお弟子様の墨跡仏画計72点を寄贈頂きました。

谷上人は、公認会計士・税理士として、また経営コンサルタントとして活躍されながら、大学で教鞭を執られ、また僧侶として自行化他に湛進されるなど、多方面でその才能を發揮され、精力

◀ 「龍頭觀音菩薩像」



「よきたねをまけ」



的に活動されておりましたが、平成27年12月15日70才で遷化されました。その直前まで弁榮上人を広く世の人々に伝えたい一心から、弁榮上人の著書『宗祖の皮隨』の現代語訳を執筆され、出版を目前とするところで、突然の病に倒れられました。

谷上人のご遺稿は、ご遺族をはじめ、河波定昌上人によって『法然上人の神髓』(現代語訳『宗祖の皮隨』)として出版され、道俗を問わず、多くの方に読まれております。

アリーナご尊像 「開眼式」法要

学園教諭 山本 静雄先生

学園中庭の桜が満開に咲き誇る、うらかな春爛漫の4月4日、第1アリーナご尊像開眼式法要が挙行されました。光明学園創立百周年を機にご尊像を一新しました。今までの両アリーナにあつたご尊像、第1アリーナのものは昭和61年に、第2アリーナのものは本学園85周年を記念して平成15年に描かれました。両ご尊像は本学園教諭伊原加寿子先生の作です。第1アリーナのご尊像は2枚の絹地をミシンで縫い合わせ、そこに岩絵具を使って描かれた日本画のものです。損傷激しく、ミシンの縫い目がほつれてしまっています。今回は1枚の布地に油絵具で描かれました。作者は女子美術大学非常勤講師菅野静香先生です。



第1アリーナ開眼式法要

学園中庭の桜が満開に咲き誇る、うらかな春爛漫の4月4日、第1アリーナご尊像開眼式法要が挙行されました。光明学園創立百周年を機にご尊像を一新しました。今までの両アリーナにあつたご尊像、第1アリーナのものは昭和61年に、第2アリーナのものは本学園85周年を記念して平成15年に描かれました。両ご尊像は本学園教諭伊原加寿子先生の作です。第1アリーナのご尊像は2枚の絹地をミシンで縫い合わせ、そこに岩絵具を使って描かれた日本画のものです。損傷激しく、ミシンの縫い目がほつれてしまっています。今回は1枚の布地に油絵具で描かれました。作者は女子美術大学非常勤講師菅野静香先生です。

ご尊像一新に寄付のあつた、卒業生で組織される光友会への感謝が述べられました。その後、井上理事長より挨拶として、ご尊像を一新した経緯、そしてご尊俊一新に寄付のあつた、卒業生で組織される光友会への感謝が述べられました。

澤常務理事、清水校長、制作者の菅野先生、細野光友会会長。ご尊像の前には果物が供えられ、木魚と大童（ダイキン）という鐘が置かれていました。導師は先ずご尊像に向かって梵字を宙に描かれ、大童を打ち鳴らして読経しました。表白（ヒヨウビヤク）を述べられ、光明学園のこれから的发展を祈願された後、壇上の方々が焼香をしました。その後、井上理事長より挨拶として、ご尊像を一新した経緯、そしてご尊俊一新に寄付のあつた、卒業生で組織される光友会への感謝が述べられました。

ご尊像制作者より

女子美術大学洋画専攻
非常勤講師 菅野 静香先生

開眼式法要の終了後、制作者の菅野静香先生にインタビューをさせて頂きました。その内容を以下に掲載します。

私は油絵を専攻しています。ご尊像制作の依頼を受けた時は、ご尊像を油絵で描いて良いのだろうかとためらいがありました。しかし、光明学園で美術を担当されていた片山先生より、仏画を油絵で描くのは珍しく、新しいことをしてみないかとの言葉に背中を押されお受け致しました。

2枚のお絵像を1年ちょっとで制作しました。制作を開始して間もない頃は、山崎弁崇上人が描かれたご尊像を忠実に拡大することの難しさにばかり気を取られていました。

しかし、何度も光明学園に来て制作を続けてゆく中で、生徒さんとも話をする機会があり、生徒さんより来様の前だと気がひきしまるという言葉を聞いてから、私が作っているのは絵ではなく、皆さんのが集まる場所を作っているのだと思ってご尊像を描きました。

（文責会報編集者）



菅野静香先生



修養室で制作中の菅野先生



平成30年度の光友会の活動を、
ご報告致します。

光友会活動報告

④ 平成30年度 懇親会

平成30年11月24日（土）、相模原市のホテルラボール千寿閣において、恒例の懇親会を開催しました。学園より、井上正明理事長、長澤博文常務理事をはじめとする多くの教職員や卒業生のご臨席を賜りました。

① 平成30年度 入学式参列

平成30年4月9日（月）、高等学校第1アリーナにおいて入学式が挙行され、光友会会长も来賓としてお招き頂きました。入学者は、636名でした。



平成30年度 懇親会

③ 全国高等学校野球選手権 神奈川県大会応援

夏の全国高等学校野球選手権神奈川県大会が行われました。今年度は、1回戦シード、2回戦7月15日（日）、大和スタジアムで、本年度も、光友会より全校生徒職員の皆様に百周年記念ロゴ入りマフラー・タオルの寄贈をさせて頂きました。

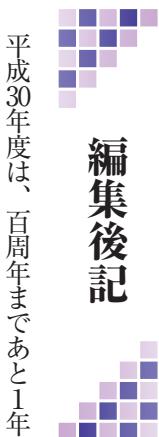
感謝申し上げます。
次年度も是非、多くのご参加をお待ちしております。

和太鼓部は、平成30年12月25日（火）、相模原市民会館にて、吹奏楽部は平成31年3月19日（火）、相模原市杜のホールはしもとにて開催されました。本会の役員も鑑賞させて頂きました。

⑥ 和太鼓部定期発表会 吹奏楽部定期演奏会



第51回 文化祭



編集後記

平成30年度は、百周年まであと1年ということもあり、様々な事業が大きく進展いたしました。そして、2019年度にはいよいよ学園創立百周年を迎えて参ります。学園では、百周年記念式典や、山崎弁榮聖者にまつわる展示会等、様々な事業を計画しております。卒業生の皆様にも今後ともお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

光友会や学園について等、お問い合わせ等ございましたら、高等学校光友会担当の茅原田までお願い致します。

平成30年度をもって、退任される先生方のご紹介をさせて頂きます。
伊原加寿子先生が、御退任致します。
今年度までの指導に感謝申し上げますと共に、益々のご健勝をお祈り申し上げます。

なお、先生には嘱託教諭として継続して下さいます。今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

退任のお知らせ